



ピックアップ特集：あかびらの医療費の推移について

6月定例会の主な議題

赤平市議会第2回定例会は6月10日から4日間の日程で開会され、議案としてふるさとガンバレ応援寄附条例の制定をはじめ、旧赤平小学校跡地の財産処分等議案11件を原案どおり可決。13日閉会しました。財政健全化初年度としての7月1日を迎えた赤平市、職員も減少された中、努力の跡が伺われております。

今回の一般質問も多岐にわたり市民生活に根ざした内容であり、5名の質問者の主なものをまとめてみました。

◆公明党

(五十嵐美知)

問 長寿医療制度よろず相談窓口設置について

答 広報あかびらの「医療保険です」コーナーで常時相談窓口の周知を図り、親切な対応に努める。

問 ゴミ減量化と市民負担と市財政の影響

答 市民負担割合4分の1、行政負担割合4分の3で現在は行政負担率が上回っている。減量化が進まない場合、市民負担増を求めていくことは避けられない。

問 幼保一元化の取り組みと今後の考え

答 一元化の必要性は認識している。施設の有効利用、民間活用など方向性をとり、認定こども園、幼保一元化の可能性を検討する。

問 街なか居住対策と取り組みについて

答 雇用促進大町宿舎は市街地利便性の向上を図る上で重要、今後のあり方を検討する。

問 学校耐震化と防災機能の整備について

答 国の補助率引上げにより実施を検討

◆民主クラブ

(谷田部芳征)

問 財政健全化の推進について

答 予算編成当初の1月の石油製品契約単価に置き換え計算すると、市全体で2300万円の歳出増加となる。特別交付税や道の政策補助金等の要望を行い、更に節減に努めたい。

問 19年度決算の見込み

答 特別交付税の増額や除雪費の削減、その他不用額・特別会計の剰余金等により、4億2千万円の改善が見込まれ、よって、20年度当初赤字比率39.22%から30.23%まで回復、財政の収支が好転した。しかし、病院経営改善の大きな課題もあり、予算を許すことなど緊張感をもって予算執行にあたりたい。

問 食材高騰による学校給食費の値上げについて

答 若干の繰越金と安価な食材を利用し、献立を工夫して値上げしないよう運営したい。引き続き安心安全な食材の意図から、できる限り国内産、道内産、地産地消の観点から、地元産食材の確保に努めたい。

◆新政クラブ

(植村真美)

問 歳入確保について

答 アー火まつりの財政支援は今年度限りであるが、今後も継続し、次世代の子どもにも引き継ぎ、自主的に運営資金を確保したい。イ・商・農・工業の方々との意見交換したい。

問 若者が住みやすい環境の整備について

答 既存の公営住宅を、中堅所得者向けの特定公共賃貸住宅に見直す「みなし特定公共賃貸住宅制度の活用」や、市帯に供給する方策を検討。

問 学校教育・学力の向上について

答 昨年の全国学力学習状況調査で北海道の学力は低いことが明確。学習改善プランの作成など、学力向上に向けた取り組みを展開。学校、家庭との連携も図り、家庭学習の習慣化も指導していきたい。

◆知新会

(太田常美)

問 風呂のない茂尻地区公営住宅入居者の対策について

答 現在の財政健全化計画において平成23年度からの建設予定を目指している。

問 文京町、豊丘町、若木町の風呂のない公営住宅の対策について

答 民間浴場の廃業、意思の報告を受け、今後、地域の利

用者、町内会などから要望等があり、町内会などから要望等が前向きに対応する。

問 入院患者用のトイレと風呂の新設について

答 現在、病院に求められている最重要課題として収益確保、支出の削減であり、現状は困難。今後、財政収支を見ながら療養環境の整備に努める。

問 医師住宅について

答 この度、産炭地基金を活用し、一部集合住宅2棟の改修を行うことになっている。戸建て住宅についても、今後、地域振興を考慮した中で活用方法を検討する。

◆日本共産党

(栗戸忠)

問 平成20年度財政再生団体回避の現状について

答 平成20年度では、39.22%から30.23%まで改善見込みで、更に標準財政規模の減少により約4億7千万円の留保資金となる。

問 地方交付税6年間で約10億削減され、健全化法の指標は生じないか

答 7月確定の普通交付税、年度末確定の特別交付税などの歳入に合わせ、降雪量が影響する除雪経費、原油価格高騰、そして、花卉園芸振興公社の問題等、歳出の不確定要素はあるものの、引き続き緊張感を持って取り組みたい。

問 万が一、財政再生団体突入の時について

答 必ず財政再生団体入り回避を現実化できると考えている。

問 市立病院の再編問題について

答 公立病院の改革ガイドラインを年度内にプラン作成し、経営の効率化を図っていく。

議会の動き

<4月>

- 4/2 総務文教常任委員会
 - ・市営テニスコートについて
- 4/23 議会運営委員会
- 4/23 総務文教常任委員会
 - ・職員の処分について
 - ・旧赤平小学校跡地利用について
- 4/28 第1回臨時会

<5月>

- 5/12 総務文教常任委員会
 - ・旧赤平小学校跡地利用について

5/21

- ・学校・幼稚園視察 (5小学校、2中学校、赤平幼稚園)

5/23

- 社会経済常任委員会 (4月分)
 - ・市立赤平総合病院の経営状況について
 - ・赤平市福祉灯油購入費助成事業の実績報告について
 - ・平成20年度の国民健康保険制度と後期高齢者医療制度について

<6月>

- 6/5 議会運営委員会
- 6/10 第2回定例会 (7.12日)

6/11

- 総務文教常任委員会
 - ・スポーツセンターの休止について
 - ・赤平市税条例の一部改正について
 - ・赤平市ふるさとガンバレ応援寄附条例の制定について

6/11

- 社会経済常任委員会
 - ・赤平市国民健康保険条例の一部改正について
 - ・赤平市介護サービス事業条例の一部改正について
 - ・赤平市建築確認等申請手数料徴収条例の一部改正について

6/13

- 総務文教常任委員会
 - ・財産の処分について
 - ・平成20年度赤平市一般会計補正予算

ピックアップ

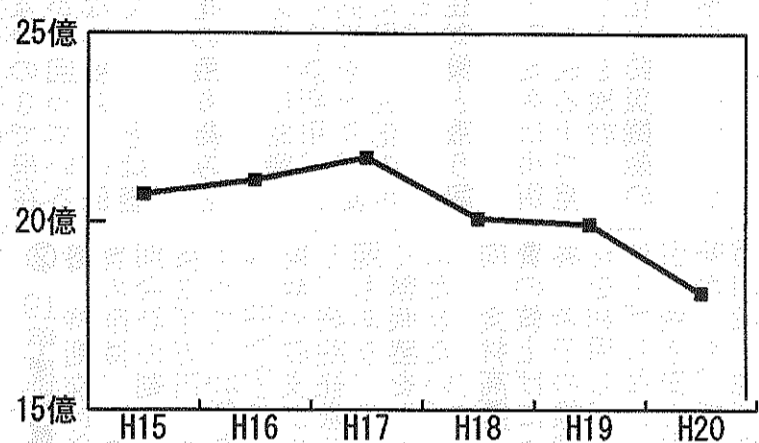
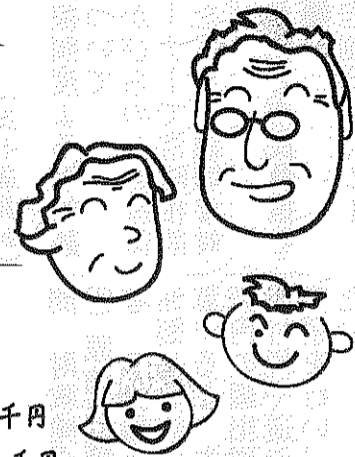
特集記事

No.2: あかびらの医療費の推移について

年度	①医療費	②老人保健医療費へ赤平市から支援拠出金	合計	国保加入者
H15	14億 3978万 3千円	6億 3374万 8千円	20億 7353万 1千円	6,543人
H16	15億 2313万 5千円	5億 8855万 9千円	21億 1169万 4千円	6,594人
H17	14億 9252万円	6億 7963万 1千円	21億 7215万 1千円	6,623人
H18	16億 1067万 6千円	3億 9875万 6千円	20億 943万 2千円	6,670人
H19 (見込み)	17億 3226万 2千円	2億 6234万 9千円	19億 9461万 1千円	6,567人
H20 (予定)	17億 7762万 1千円	3290万 6千円	18億 1052万 7千円	6,439人

※今年3月現在

■ H18年決算において一人当りの医療費は、全道180市町村の中で **第1位!**



※国保加入者数→H20年4月から4308人
～後期高齢者制度(長寿医療制度・75歳以上)移行のため減少～

議会 Note Book

教育施設の視察を終えて

総務文教常任委員会
委員長 林 喜代子

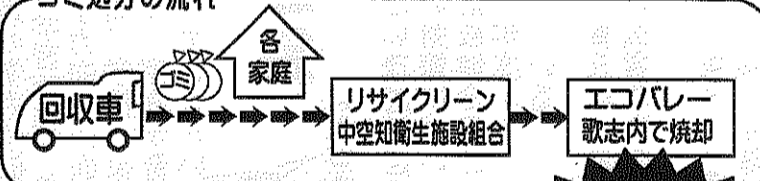
5月27日総務文教常任委員会で、市内の小学校5校、中学校2校、赤平幼稚園を視察してまいりました。教育目標を伺いながら、学習指導、生活指導の具体的な取り組みを聞き、また、各委員からは学校、子供達の現状、学校評議員制度、スキー学習の取り組み、学力テストについて、等全般に校長、教頭が対応して答えて下さいました。昼食は久しぶりに給食センターにおいて、当日の中学生用の給食を試食し、食品の安全について議論し、確認してまいりました。子供達の笑顔の裏にいじめや不登校、虐待でつらい思いをしている子供達がないことを祈る一日でした。



「ゴミ減らし」大作戦!

“ゴミが増えるとゴミ袋が値上げ”に! 赤平市の財政も負担増に!

ゴミ処分の流れ



1日1人 100g

ゴミを減らす努力をしよう!

赤平市では月ごとに、あかびら広報・赤平市役所コミセン入口にてごみ減量預金通帳を公開中です!

負担金の値上げ
(H20~21)
400万円UP
(H22~24)
1200万円UP
※年間見込み

みんなで協力し合って環境にもいいことしよう!

・ 編 ・ 集 ・ 後 ・ 記 ・

みなさま こんにちは☆第2号のかわら版を読んでいるいただき、ありがとうございます。第2回定例会の内容と、最近、国会でも注目の話題であります医療費についての特集を組んでみました。どうでしたでしょうか?

市財政の厳しい現状の中、議会として幅広く市民の皆様へ情報の提供に努めますので、どうぞよろしくお願いたします。

編集委員の紹介 (ご意見をお寄せ下さい!)

穴戸 忠、谷田部秀征、五十嵐美知、植村 真美、太田 常美

赤平の夏もじわじわと近づいてきました。7月に入ると、クラシックカーフェスティバル、火まつりなど赤平のイベントも満載です☆

